

各種被塗面に対する
水系光触媒酸化チタンコーティング材
セブンチタニック仕様書

 **株式会社 セブンケミカル**

技術部

チタンコート仕様一覧

仕様番号	被 塗 面	下地保護コート
内装面 ST-1		
1-1	一般内装面	—
外装面 ST-2		
2-1	一般外装面	—
2-2	平滑塗装仕上げ改修面	アクリルシリコンクリヤー
2-3	スチップル塗装仕上げ改修面	アクリルシリコンクリヤー
タイル面 ST-3		
3-1	釉薬タイル面	—
3-2	素焼きタイル面	—
3-3	タイル面(劣化小) 目地保護耐久性	—
3-4	タイル面(劣化大) 目地劣化防止・タイル保護	—
3-5	釉薬タイル面(改修)	—
石材面 ST-4		
4-1	御影石(本みがき仕上げ面)	—
4-2	御影石(割り肌仕上げ面)	—
4-3	砂岩面	—
モルタル/コンクリート面 ST-5		
5-1	コンクリート打ち放し面	—
5-2	コンクリート打ち放し面(劣化大)	セブンS
5-3	新設コンクリート打ち放し面(躯体保護防水)	セブンS
金属面 ST-6		
6-1	アルミ/ステンレス新設面	—
6-2	アルミ/ステンレス改修劣化面	—
6-3	鉄部塗装改修面	ウレタンエナメル
ガラス面 ST-7		
7-1	ガラス面	—
プラスチック面 ST-8		
8-1	プラスチック新設面	—
8-2	プラスチック改修面(正面劣化)	ウレタンエナメル

セブンチタニック施工要領

下地調整

- ・汚染状態のまま施工すると、改修効果が得られません。
- ・タバコのヤニ等水溶性の汚れは、水拭き等により清掃、及び水性シミ止めシーラーで処置する。
- ・外部改修塗装面へのコーティングは、仕上がった翌日以降にアンダーコートから始めて下さい。
- ・塗装鋼板など艶消し仕上げの場合、手・指皮脂や、軍手による擦りで艶斑の原因になり易いので注意する。
- ・メタリック塗装改修面には、予め目立たぬ場所でテスト施工をし不具合発生のないことを確認する。
- ・被塗物表面の塵埃、付着異物などを、高圧水洗浄等で十分除去する。
- ・白華物等は十分に適正な洗剤で処理し、その後十分に洗浄する。
- ・コンクリート打ち放し素地面の巣穴(ピンホール)を十分に平滑に埋め戻し処理して下さい。
- ・油分、手垢などは、洗剤やシンナーを用いて清掃する。
- ・シーリング材のブリード止め処理を、必要に応じ行う。
- ・無垢のステンレス、アルミニウム、アルミサッシ等はシールオイル、可塑剤の含浸分を十分に除去する。
(既存シールが、シリコンシーリング材の場合、光触媒の効果が十分に発揮できません。)
- ・発錆部等は、研磨紙、ワイヤブラシ、電動工具類を用いて十分除去する。
- ・ひび割れ、気泡穴などの補修を十分行う。
- ・ガラス面の清掃は、クリームクレンザー、中性洗剤液等で表面を十分に清掃し、「スクイジ」で水切りする。
その後アルコール(IPA等)で拭き取り清浄な面とする。(速やかに、セブンチタニック塗付工程に入る。)
- ・下地調整後、被塗物の表面を十分乾燥させる。

容器・ラベルの確認

- ・アンダーコート …………… セブンチタニックプライマー
- ・チタンコート(室内) …………… セブンチタニック IN
- ・チタンコート(屋外) …………… セブンチタニック

塗装方法

吹きつけ 温風低圧エアースプレーガン 又は ラッカーガン
圧力 (1.0kgf/cm²以下)
口径 (0.3~0.8mm)

- ・塗装面以外は、予め養生する。
- ・無垢のステンレス、アルミニウム、アルミサッシ等は直接アンダーコートからの塗装は出来ません。
- ・予め、テスト吹きを十分して下さい。(スプレーガンのカップ内に水道水を入れ、新聞・コンパネ板・ガラス面等に吹き付けて塗出量を調整します。)ムラなく吹けるようにして下さい。
- ・所定量となるよう塗出量を調整しながら、縦横クロス塗装してください。
- ・透明仕上げなので、やむをえず塗装を中断する場合には、塗装箇所下にテープ貼り等で印をして、塗り残し箇所の無いよう、確認しながら施工を進めてください。
- ・汚染防止効果を十分発揮させるため、均一にムラなく塗装すること。特に塗布量について注意する。
(塗布過多箇所・吹き斑箇所は、白ボケを生じることがあります)
- ・塗り残しを防ぐため、必ず2回塗りで仕上げてください。(塗装面は、艶退け方向で仕上がります。)
- ・濃色下地に塗装する場合は、予めテスト塗装して仕上がり確認してから実施工に入ってください。吹き過ぎると若干白っぽくなる場合があります。

- ・使用後のエアースプレーガンは、カップ内・ノズルに水を通し良く洗浄後、発錆防止のためアルコール（IPA等）で洗浄し拭きとってください。

塗装後の注意

- ・塗装後、表面は乾燥いたしますが、完全固着には3週間から1ヶ月程の期間が必要です。
- ・塗装面へのひっかき・擦り・拭きは避けて下さい。
- ・当日や翌日に大量の降雨で流される場合があります。

親水性の確認

- ・単位部位・単位方位当たり、5箇所以上、及び10㎡毎に1箇所以上、水を霧吹き散布して、親水性の得られていることを確認する。
- ・親水性が得られなかった箇所は、再度セブンチタニックを塗布する。
- ・親水性評価のためには、予めチタンコートを行っていない見本板を用意し、壁面に並べて霧吹き散布して比較するのが有効です。また、発注者の了解を得、無処理部分を10cm角程残すと経過確認できます。

注意事項

- ・セブンチタニックを塗付した面でも、雨掛りの悪い場所では油煙、塵埃などの汚れ残りができます。
- ・太陽光の当たりづらい場所では、苔、藻類の繁殖抑制効果が下がります。
- ・斜壁面から垂直面への取り合いや、窓周り下隅など、光触媒効果を超え、汚れの集中するような箇所では、汚ダレ筋の発生が見られます。予め、水切板の設置など、直接壁面に汚ダレが伝わらない処置をお願いします。
- ・湿度の高い場合（湿度70%RH以上）で、白曇りにブラッシング現象の生じる場合があります。天候の回復を待って塗装してください。
- ・材料は水系のため、冬季の保管、使用の際は、凍結に注意してください。
- ・5℃以下での施工、降雨の予想される場合は塗装を避けてください。
- ・施工中は、皮膚への接触を避けるため、保護具を着用してください。

仕様名称 : ST-1工法 セブンチタニック 施工方法

(仕様番号)

用 途 : 一般内装面

工程	製品名		希釈 (重量比)	塗付け量 (Kg/m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
	希釈剤					
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> ・タバコのヤニ等、水溶性の汚染が目立つ時は、洗剤、水拭き等で、十分除去するか、しみ止めシーラー等を用いて事前に処理しておく。 ・ごみ、ほこり及び、その他付着異物は、ウエス、ブラシ、エアブローその他のケレン具で事前に除去し、十分乾燥させる。 					
1	チタンコート(1)	セブンチタニック IN	無	0.03～ 0.05	1以上 168以内	エアースプレー
2	チタンコート(2)	セブンチタニック IN	無	0.03～ 0.05	24以上 (乾燥養生)	エアースプレー

* 施工上の注意事項

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

仕様名称 : ST-2工法 セブンチタニック 施工方法 (仕様番号)

用途 : 一般外装面 (EP/EP-G/SOP/ウレタン樹脂/アクリルシリコン樹脂/フッ素樹脂等塗装面)

工程	製品名	希釈 (重量比)	塗付け量 (Kg/m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
	希釈剤				
下地調整	・高圧水洗浄等で、既存の汚れを除去し、十分乾燥させる。 ・ひび割れ、はがれ、ふくれ、付着不良箇所は、事前に補修、修復する。				
1	チタンアンダーコート	無	0.03～0.05	3以上 168以内	エアースプレー
2	チタンコート(1)	無	0.03～0.05	1以上 168以内	エアースプレー
3	チタンコート(2)	無	0.03～0.05	24以上 (乾燥養生)	エアースプレー

*** 施工上の注意事項**

- ・ 濃色(赤・青・緑・黒など)下地の場合、吹き過ぎに注意し、予めテスト吹きして確認してください。
- ・ 仕上げ材は、出来るだけ高耐候性の樹脂塗料を選定して下さい。
- ・ 外装改修後、当日の施工は避け、翌日以降にアンダーコートから塗装して下さい。

仕様名称 : ST-3工法 セブンチタニック 施工方法

(仕様番号)

用 途 : 改修 タイル面 (劣化小)・目地保護耐久機能

工程	製品名		希積 (重量比)	塗付け量 (Kg/m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
	希積剤					
下地調整	・汚染状態のまま施工すると、改修効果が得られません。 ・高圧水洗浄で、表面の塵埃、油脂類、その他付着異物等、汚染物を十分除去する。 ・表面が汚染固着している場合、酸性洗剤を用い十分除去し、表面を中和しておく。 ・ひび割れ、気泡穴、欠損等の補修を十分行う。下地が乾燥している。					
1 (下塗)	セブンSシーラー		無	0.15～ 0.2	3以上 168以内	エアレスプレー
2 (下塗)	セブンSシーラー		無	0.15～ 0.2	16以上 168以内	エアレスプレー
3 チタンアンダーコート	セブンチタニックプライマー		無	0.03～ 0.05	3以上 168以内	エアースプレー
4 チタンコート(1)	セブンチタニック		無	0.03～ 0.05	1以上 168以内	エアースプレー
5 チタンコート(2)	セブンチタニック		無	0.03～ 0.05	24以上 (乾燥養生)	エアースプレー

* 施工上の注意事項

- セブンSシーラー 塗装後、当日の施工は避け、翌日以降にアンダーコートから塗装して下さい。
- セブンSシーラー を塗装すると目地が濡れ色になります。
- 陶器質・石器質タイル等では、セブンSシーラーを塗ると濡れ色になります。

株式会社セブンケミカル
 東京都新宿区西新宿7-17-14
 TEL 03(3366)2616

仕様名称 : ST-4工法 セブンチタニック 施工方法

(仕様番号)

用 途 : 御影石面 (本みがき仕上げ)

工程	製品名		希釈 (重量比)	塗付け量 (Kg/m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
	希釈剤					
下地調整		既存の汚れを除去、脱脂する。 十分乾燥させる。				
1	チタンコート(1)	セブンチタニック	無	0.03～ 0.05	1以上 168以内	エアースプレー
2	チタンコート(2)	セブンチタニック	無	0.03～ 0.05	24以上 (乾燥養生)	エアースプレー

* 施工上の注意事項

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

仕様名称 : ST-4工法 セブンチタニック 施工方法

(仕様番号)

用 途 : みかげ石 割り肌面・びしゃん等

工程	製品名		希釈 (重量比)	塗付け量 (Kg/m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
	希釈剤					
下地調整	・油系汚れ、微生物汚染、アルカリ析出汚れ等は、洗剤シンナー、殺菌漂白剤等で、事前に十分除去しておく。 ・高圧水洗浄等で、既存の汚れを除去し、十分乾燥させる。 ・気泡穴、ひび割れ、はがれ等は、事前に修復する。					
1	下塗(1)	セブンコンクリートシーラーⅡ	0~10 (水)	0.1~ 0.15	3以上 168以内	中毛ローラー
2	下塗(2)	セブンコンクリートシーラーⅡ	0~10 (水)	0.1~ 0.15	16以上 168以内	中毛ローラー
3	チタンアンダーコート	セブンチタニックプライマー	無	0.03~ 0.05	3以上 168以内	エアースプレー
4		セブンチタニック	無	0.03~ 0.05	1以上 168以内	エアースプレー
5		セブンチタニック	無	0.03~ 0.05	24以上 (乾燥養生)	エアースプレー

※ 施工上の注意事項 石材表面の吸い込み止めについて

- セブンSコンクリートシーラーⅡは水性ですが多少濡れ色になります。又、3~4分程の艶が残ります。
- セブンコンクリートシーラーⅡ塗装後、当日の施工は避け、翌日以降にアンダーコートから塗装して下さい。

仕様名称 : ST-4工法 セブンチタニック 施工方法

(仕様番号)

用 途 : 砂岩面

工程	製品名		希釈 (重量比)	塗付け量 (Kg/m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
		希釈剤				
下地調整	・油系汚れ、微生物汚染、アルカリ析出汚れ等は、洗剤シンナー、殺菌漂白剤等で、事前に十分除去しておく。 ・高圧水洗浄等で、既存の汚れを除去し、十分乾燥させる。 ・気泡穴、ひび割れ、はがれ等は、事前に修復する。					
1	(下塗)	セブンコンクリートシーラーⅡ	0～10 (水)	0.1～ 0.15	16以上 168以内	中毛ローラー
2	チタンアンダーコート	セブンチタニックプライマー	無	0.03～ 0.05	3以上 168以内	エアースプレー
3	チタンコート(1)	セブンチタニック	無	0.03～ 0.05	1以上 168以内	エアースプレー
4		セブンチタニック	無	0.03～ 0.05	24以上 (乾燥養生)	エアースプレー

* 施工上の注意事項

- セブンSコンクリートシーラーⅡは水性ですが多少濡れ色になります。又、3～4分程の艶が残ります。
- セブンコンクリートシーラーⅡ塗装後、当日の施工は避け、翌日以降にアンダーコートから塗装して下さい。

仕様名称 : ST-5工法 セブンチタニック 施工方法

(仕様番号)

用 途 : コンクリート打放し面 仕上げ (水性仕様)

工程	製品名		希釈 (重量比)	塗付け量 (Kg/m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
	希釈剤					
下地調整	・表面の塵埃、油脂類、その他付着異物など、汚染物を除去する。 ・ひび割れ、気泡穴等の補修を十分行う。 ・下地が乾燥している。					
1	下塗(1)	セブンコンクリートシーラーⅡ	0~10 (水)	0.1~ 0.15	3以上 168以内	中毛ローラー
2	下塗(2)	セブンコンクリートシーラーⅡ	0~10 (水)	0.1~ 0.15	16以上 168以内	中毛ローラー
3	チタンアンダーコート	セブンチタニックプライマー	無	0.03~ 0.05	3以上 168以内	エアースプレー
4	チタンコート(1)	セブンチタニック	無	0.03~ 0.05	1以上 168以内	エアースプレー
5	チタンコート(2)	セブンチタニック	無	0.03~ 0.05	24以上 (乾燥養生)	エアースプレー

* 施工上の注意事項

- ・ 予め、(水性浸透性吸水防止剤)セブンパーマガードNo.5を塗付し、下地への雨水浸透を簡易的に抑えてから、セブンコンクリートシーラーⅡを塗付していただくのも良好です。

(ローラーで塗付しきれなかった躯体表面の巣穴(ピンホール)等への水濡れに有効です。)

- ・ セブンコンクリートシーラーⅡ塗装後、当日の施工は避け、翌日以降にアンダーコートから塗装して下さい。

仕様名称 : ST-5工法 セブンチタニック 施工方法

(仕様番号)

用 途 : 改修 コンクリート打放し面 仕上げ(溶剤型仕様)・・・躯体保護防水機能

工程	製品名		希釈 (重量比)	塗付け量 (Kg/m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
	希釈剤					
下地調整	・汚染状態のまま施工すると、改修効果が得られません。 ・高圧水洗浄で、表面の塵埃、油脂類、その他付着異物等、汚染物を十分除去する。 ・ひび割れ、気泡穴、欠損等の補修を十分行う。下地が乾燥している。					
1 (下塗)	セブンSコンクリートシーラー2T		無希釈	0.1～0.2	3以上 168以内	中毛ローラー
2 主材塗り(1)	セブンS		水0～3	0.4～0.6	3以上 168以内	マスチックローラー
3 主材塗り(2)	セブンS		水0～3	0.2～0.4	16以上 168以内	中毛ローラー
4 上塗り(1)	セブンストップM#30 艶有/半艶		無希釈	0.12～ 0.15	3以上 168以内	中毛ローラー
5 上塗り(2)	セブンストップM#30 艶有/半艶		無希釈	0.12～ 0.15	16以上 168以内	中毛ローラー
6 チタンアンダーコート	セブン チタニックプライマー		無	0.03～ 0.05	3以上 168以内	エアースプレー
7 チタンコート(1)	セブンチタニック		無	0.03～ 0.05	1以上 168以内	エアースプレー
8 チタンコート(2)	セブンチタニック		無	0.03～ 0.05	24以上 (乾燥養生)	エアースプレー

* 施工上の注意事項

- ・ セブンSコンクリートシーラー2T塗装後、吸い込みが多く濡れ色にならない部分は、塗り回数にかかわらず、均一になるように仕上げて下さい。
- ・ セブンSコンクリートシーラー2Tはタレぬように塗装して下さい。トナーのタレ跡が見える場合があります。
- ・ セブンSコンクリートシーラー2T塗装後、翌日以降にチタンアンダーコートから塗装して下さい。

仕様名称 : ST-5工法 セブンチタニック 施工方法

(仕様番号)

用 途 : 新 設 コンクリート打放し面・・・躯体保護防水機能

工程	製品名	希釈 (重量比)	塗付け量 (Kg/m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法	
	希釈剤					
下地調整	・表面の塵埃、油脂類、その他付着異物など、汚染物を除去する。 ・ひび割れ、気泡穴等の補修を十分行う。 ・下地が乾燥している。					
1	下塗(1)	セブンコンクリートシーラーⅡ	0～10 (水)	0.1～ 0.15	3以上 168以内	中毛ローラー
2	下塗(2)	セブンコンクリートシーラーⅡ	0～10 (水)	0.1～ 0.15	16以上 168以内	中毛ローラー
3	主材塗り(1)	セブンS	水0～3	0.3～0.5	3以上 168以内	マスチックローラー
4	主材塗り(2)	セブンS	水0～3	0.3～0.5	16以上 168以内	中毛ローラー
5	上塗り(1)	水性セブンストップ 半艶	無希釈	0.12～ 0.15	3以上 168以内	中毛ローラー
6	上塗り(2)	水性セブンストップ 半艶	無希釈	0.12～ 0.15	16以上 168以内	中毛ローラー
7	チタンアンダー コート	セブン チタニックプライマー	無希釈	0.03～ 0.05	3以上 168以内	エアースプレー
8	チタンコート(1)	セブンチタニック	無希釈	0.03～ 0.05	1以上 168以内	エアースプレー
9	チタンコート(2)	セブンチタニック	無希釈	0.03～ 0.05	24以上 (乾燥養生)	エアースプレー

＊ 施工上の注意事項

- 水性セブンストップ塗装後、翌日以降にアンダーコートから塗装して下さい。

仕様名称 : ST-6工法 セブンチタニック 施工方法

(仕様番号)

用 途 : アルミ/ステンレス面 (無垢面)

工程	製品名		希釈 (重量比)	塗付け量 (Kg/m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
	希釈剤					
下地調整		・塵埃、手垢、汚れのある場合は、脱脂、水洗等で十分除去して下さい。 ・素地が乾燥している。				
1	(下塗)	セブンSシーラー	0～50	0.12～ 0.15	16以上 168以内	エアレスプレー
2	チタンアンダーコート	セブンチタニックプライマー	無	0.03～ 0.05	3以上 168以内	エアースプレー
3	チタンコート(1)	セブンチタニック	無	0.03～ 0.05	1以上 168以内	エアースプレー
4	チタンコート(2)	セブンチタニック	無	0.03～ 0.05	24以上 (乾燥養生)	エアースプレー

＊ 施工上の注意事項

- ・ セブンSシーラー 塗装後、当日の施工は避け、翌日以降にアンダーコートから塗装して下さい。
- ・ 素地の意匠性を考慮し、吹き過ぎ、吹き斑に十分注意をする。
- ・ シーリング材のブリード止め処理を、必要に応じ行う。
- ・ 無垢のステンレス、アルミニウム、アルミサッシ等は、シールオイル、可塑剤の含浸分を十分に除去する。
- ・ (既存シールが、シリコンシーリング材の場合、光触媒の効果が十分に発揮できません。)
- ・ セラセブントップMSシンナーにて 0～50%希釈してご使用下さい

仕様名称 : ST-7工法 セブンチタニック 施工方法

(仕様番号)

用 途 : ガラス面

工程	製品名		希釈 (重量比)	塗付け量 (Kg/m ²)	工程間隔 (時間)	施工方法
	希釈剤					
下地調整	・塵埃、油汚れ等は、中性洗剤洗い、脱脂等で、事前に十分な清掃が必要です。 ・清掃については、中性洗剤で湿し、「スクイジ」で水切りする。その後アルコール(IPA等)で拭き取り、清浄な面とする。表面が乾燥している。					
1	チタンコート(1)	セブンチタニック	無	0.02～ 0.03	3以上 168以内	エアースプレー
2	チタンコート(2)	セブンチタニック	無	0.02～ 0.03	24以上 (乾燥養生)	エアースプレー

*** 施工上の注意事項**

湿度の高い場合(70%RH以上)で白化現象(ブラッシング)の生じる場合があります。

天候の回復を待つて塗装してください。

白化現象の生じた場合、直ちに洗剤を併用して水拭き除去してください。

不均一や厚塗りで、干渉縞が発生した場合も同様です。

塗装後、表面は乾燥していますが、完全固着には2週間から1ヶ月必要です。

出来るだけ塗装面へのひっかけ、擦り、拭きは避けて下さい。

当日や、翌日の大量な降雨で塗装が流される場合があります。

降雨が予想される場合は塗装を避けて下さい。

